教育相談室

援助希求的態度を育てる ―「助けて」が言えない―

昨今、大人も子供も相談する力があれば、大事に至る前に何か手立てができたはずの悲惨なニュースが後を絶ちません。

全国の自殺者数は平成10年から14年連続して3万人を超えています。その数は、交通事故死の9～10倍となっており、特に10歳代から急激に自殺による死亡率が増加しています。未成年者の自殺者数は、年間600人前後と日本の全自殺者数の約2～3％ですが、10～20歳代では死因の第一位となっています。さらに、近年の自殺死亡率をみると他の年齢層は減少傾向を示す中、若年層のみが増加傾向を示すなど深刻な状況が続いています。

このような現状を直視し、2006年6月に自殺対策基本法が成立し、自殺予防対策は社会全体で取り組むべき課題であると宣言されました。さらに、文部科学省はこれを受け、翌年3月に自殺予防の基本的な考え方及び自殺予防対策を提言した「子どもの自殺予防のための取組に向けて」を取りまとめました。

米国では、特に「早期の問題認識（心の健康）」と「援助希求的態度」を促進することに焦点を当てた自殺予防教育が実施されています。長い人生の中で問題を抱えることは誰にでもあり、それに早い段階で気付いて、適切に助けを求めることが強調されています。これは単に子供時代だけに役立つものではなく、一生における心の健康の保持を目指すものと考えられています。

さて、前項の「援助希求的態度」とはどのような態度なのでしょう。これは、自分の力では解決できない問題を抱え悩んでいるとき、誰かに相談したり、助けを求めたりする行為のことを言います。一般的には、相談したり援助を求めたりすることは、自分の力のなさや弱みを見せることだと考えられ、なかなかできない風潮があります。そこには、日本独特の「恥の文化」「よそ様に迷惑をかけられない」という考え方があるのではないでしょうか。しかし、援助を求めることは、単に他者に依存することではなく、悩みを聞いてもらい、受け止め、励ましてもらう中で、自らが抱えている問題を整理し、解決していこうとする積極的なストレス対処法であり、生きていく上で大事な能力のひとつなのです。

特に、思春期を迎えた10歳代の子供は、友人や仲間との関係が大切な時期になり、その関係性の中で成長します。しかし、悩みがあってもプライドがあり、自分の力で何とかしようと思うようになります。その結果、事態が見えないまま問題が進行し、深刻化してしまう危険性があります。

自分ひとりで解決できることは本当に少ないように思います。自分の力で頑張れるときは頑張るけれど、上手くいかないと思ったときは、きちんとSOSを求める。この能力を育てることは、子育ての上ではとても重要です。そのためには、日頃から子供の話にしっかり耳を傾けることが必要です。自分の気持ちを思うように話せない子供の場合は、最後まで聞いて「こういうことなんだね」と分かりやすい言葉でまとめて返し、確認してあげましょう。そして、「よく話してくれたね」「話してくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝えることです。受け止めてもらえたという感覚や、相談して良かったと思える感覚は、このような親子の関係性の中で育っていきます。

また、助けを求める気持ちがあっても、相手が忙しい様子、イライラしている雰囲気を表に出していると、援助希求がしづらくなります。援助希求ができるかどうかは、本人の力だけでなく、周囲の環境が大きく影響していると言われます。周囲の大人が、子供の援助希求を逃さないためにも、適度なリフレッシュを心がけ、心の余裕をもつことが必要なのかもしれません。そのためには、親も子育てなどで悩んだときには抱え込まず、家族や友人、学校、場合によっては地域の相談窓口等に気軽に相談し、大人の援助希求的態度も向上させていくことが大切です。

参考文献…「子供に伝えたい自殺予防」文部科学省、「こころの科学」松本俊彦編・日本評論社

問合せ　教育委員会事務局
☎62－0823

2019 12月 Calendar

日	月	火	水	木	金	土
1 嵐	2 海 図 嵐 もえる	3 ◆おはなしポレポレ や 資プラ 紙・衣	4 金属類 アルミ	5 ◆ふれあい教室 ◆木曜シネマ もえる	6 ◆図書館託児サービス ◆ふれあい教室 廃プラ	7 ◆名作映画鑑賞会 ◆親子クッキング 開庁 8:30～12:00 町民課・税務課の一部業務のみ
8 嵐	9 ◆ふれあい教室 海 図 嵐 もえる	10 ◆幼児相談 ◆嵐カフェ や 資プラ 紙・衣	11 ◆行政相談 ガラス 有害	12 ◆4～5か月児健診 ◆9～10か月児健診 ◆木曜シネマ もえる	13 ◆ふれあい教室 ◆健診後の健康相談 ペット 戸別	14 開庁 8:30～12:00 町民課・税務課の一部業務のみ
15 ◆名作映画鑑賞会 嵐	16 ◆健診後の健康相談 海 図 嵐 もえる	17 ◆3歳児健診 ◆法律相談 や 資プラ 紙・衣	18 ◆図書館託児サービス 金属類 アルミ	19 ◆子育て広場 はとぽっぽ ◆行政書士相談 ◆木曜シネマ もえる	20 ◆ヘルスアップクッキング講座 廃プラ	21 ◆おはなしの森 交(ふれあい) 開庁 8:30～12:00 町民課・税務課の一部業務のみ
22 嵐 交(ふれあい)	23 海 図 嵐 もえる	24 ◆ちいさいさんのおはなし会 や 資プラ 紙・衣	25 ガラス びん	26 ◆木曜シネマ もえる	27 ペット	28 図
29 海 図 や 嵐 健 交	30 もえる 海 図 や 嵐 健 交	31 海 図 や 嵐 健 交				

12月の納期　12月25日(水)

固定資産税	第3期
国民健康保険税	第6期
後期高齢者医療保険料	第6期
介護保険料	第6期

納税は便利な口座振替で!

● 休　館　日 ●

- 海 B＆G海洋センター
- 図 知識の森嵐山町立図書館
- や 活き活きふれあいプラザやすらぎ
- 嵐 子育てステーション　嵐丸ひろば
- 健 健康増進センター
- 交 交流センター(北部・南部・ふれあい)

● 嵐山町ごみカレンダー ●

- もえる … もえるごみ
- 資プラ … 資源プラ
- 紙・衣 … 紙・衣類
- ペット … ペットボトル
- 金属類 … 金属類
- アルミ … アルミ缶
- ガラス … ガラス類
- 有　害 … 有害ごみ
- び　ん … 茶色・無色びん
- 廃プラ … 廃プラ
- 戸　別 … 戸別収集日(有料)

広報・報道で振り返る 町のあの日、あのこと

過去の広報・報道に掲載された記事を振り返ります。過去の広報を通して、町の歴史に触れてみませんか。

「自ら考え自ら行う地域づくり事業」(通称「ふるさと創生事業」)は、国が各市区町村に対し地域振興のために1億円を交付した政策で、昭和63年から平成元年に実施されました。町では、29の事業提案がありそのうち、「蝶の里づくり」、「駒王太鼓の創設」、「大平山の整備」の3事業を行いました。いずれの事業も現在の町を代表する名所や文化として大切にされています。

平成元年11月号の報道より

平成元年11月10日　嵐山町報道　第378号 4

ふるさと創生一億円の使いみち、三事業に決定

ふるさと創生事業の一億円の整備などであり、蝶と人間でどんなまちづくりをするか。とが出生できる優れた自然環町民の皆様からアイディアを境を整備することである。募集し、「ふるさとづくり事なお、この地域は、環境庁業選考委員会」で選考を進め の「ふるさとといきものの里」、建設省の「ふるさとのモデてきました。ル河川」に指定された場所で その結果、応募のあった二 もあり、これらの事業と連携十九件の提案のうち、九月四 してふるさと嵐山の船として日の選考委員会で次の三事業 整備したい考えである。が選考されましたのでお知らせします。

蝶の里づくり　本町は、平成元年度を初年度とする第三次総合振興計画を策定したが、そのテーマを「二十一世紀へ飛翔する蝶の里　緑園都市らんざん」とした。

かねてから県民珍養地事業の一環として槻川左岸にオオムラサキの森を設定し、国蝶オオムラサキの保護繁殖に取り組んできたが、これをさらに拡大充実し、オオムラサキをはじめとする蝶の里を整備する計画である。

内容は、オオムラサキの森に隣接する氏有地約三ヘクタールを借り受けて、四季折々の花を咲かせる四季の花園の造成、雑木林の保全、散策路の整備などである。

駒王太鼓の創設　中世の武将として名高い木曽義仲公や巴御前は、義仲公の幼名である駒王丸からとったもので、編成その他については現在検討中であるが、小学校の児童を中心に大人も含めた編成とし、義仲公の一生を描いた太鼓とする予定である。

大平山の整備　武蔵嵐山が開かれた昭和の初期には、山の一部に桜やつつじが植栽され、紅葉地の一翼を担っていたこともあったが、その後は手が加えられず、県立比企丘陵自然公園の中にあって、ふるさと歩道に指定された現在でもまだまだ整備は不十分である。

この町を一望に見下ろすことのできる大平山をふるさとの山として位置付けて整備するもので、計画の内容は登山道の整備、桜・つつじなど花木の植栽、展望台・あずま屋の建設等々、である。

※　ご応募いただいた各アイディアにつきまして、今後のまちづくり、ふるさとづくりの参考にさせていただく予定です。

太鼓の名は、義仲公の幼名である駒王丸からとったもので、編成その他については現在検討中であるが、小学校の児童を中心に大人も含めた編成とし、義仲公の一生を描いた太鼓とする予定である。

大平山は、武蔵嵐山が開かれた昭和の初期には、山の一部に桜やつつじが植栽され、紅葉地の一翼を担っていたこともあったが、その後は手が加えられず、県立比企丘陵自然公園の中にあって、ふるさと歩道に指定された現在でもまだまだ整備は不十分である。

この町を一望に見下ろすことのできる大平山をふるさとの山として位置付けて整備するもので、計画の内容は登山道の整備、桜・つつじなど花木の植栽、展望台・あずま屋の建設等々、である。